

同友月報

No.332 平成26年1月20日発行

同友クラブHP <http://www.doyu-club.com>

10月例会報告

シニア会員企業の視察訪問

10月17日(木)

昭和産業株式会社

主管:総務委員会 委員長:平澤 洋一



●昭和産業の沿革や製品説明を水越社長から話して頂きました。



●ワイヤーメッシュの製造工程は壮大な規模で行われていました。

キング工業株式会社



1人1日1分のロスはグループ全体で
年間1億円の売上減である
よい会社とは普通の人より
少し早く動く人が多くいる会社



●嘉者熊工場長よりご挨拶とキング工業の概要説明を頂きました。



●社内で習慣づけされている“100m1分”の歩き方を体験しました。

株式会社 須藤(悠悠いきいき倶楽部 筑西)



●「介護保険が使えるフィットネス&カルチャーセンター」がテーマ



●高濃度酸素&リ・ブレイン(アロマの香りで脳を活性化)の体験。



余興は女性落語家のしずくさんによる落語を一席。
さらにひとつの銘酒を年代別に利き比べる“垂直利き酒”で楽しいひと時を過ごしました。



中村先輩、佐藤先輩、谷口先輩から同友クラブのこれまでと今後について熱く語って
頂きました。最後までありがとうございました。

最初の訪問先である昭和産業様では、シニア会員の小林逸男さんよりお話をさせていただき、その中で子会社が数々できていく過程で子会社が親会社の方を見るよりお客様の方を見て商売ができるように意識されたなど設立当初からの貴重なお話を聞くことができました。その後、工場では建築資材の鉄線や土木資材の製造現場を見学いたしました。続いて、昭和産業様のお隣にありますキング工業様川島工場では、最初に紹介ビデオを見た後にロッカーやコインロッカー、OAフロアの製造現場を詳しく案内していただきました。そして最後の須藤様では今年から始められた介護予防の通所施設を見学させていただき実際に設置してあるマシンを体験することができました。どの訪問先も温かく視察を受け入れて下さり、見学の先々で気持ちの良い挨拶をしていただきました。

懇親会も日本酒の利き酒、落語と盛り上がり、楽しく終了することができました。

今回、お忙しい中視察をさせていただいた昭和産業様、キング工業様、須藤様、そして参加いただいたシニア、正会員の皆様に深く感謝し報告とさせていただきます。



11月例会報告 11月23日(土) しもだて商工まつり会場内

板谷波山没後50年記念 板谷波山スタンプラリー

■ 主管 広報委員会 ■ 委員長 佐藤 浩康

オープニングセレモニーは天気にも恵まれ今年も盛大に執り行われました。



板谷波山の葡萄紋様をモチーフとしたロゴを起こし大々的にあしらいました。



板谷波山スタンプラリーは会場内に設置した6箇所の板谷波山ゆかりのクイズに答えながらスタンプを集めるイベントです。3つ以上のスタンプを集めると豪華商品が当たるお楽しみ抽選会に参加できることが大きな特典で当日は約300名の参加がありました。



このたびは板谷波山没後50年の節目の年に、同友クラブ広報委員会として例会企画が出来ましたことを心よりお礼申し上げます。また、今回の企画、準備については半年に渡り勤しんできましたが、当初は広報委員会として商工まつりのイベントを受けることに抵抗や戸惑いが大きくありました。そんな中で笠倉委員長や杉山直前会長から励ましや応援のおかげで、実施へのモチベーションに結びつけることが出来ましたことを重ねて御礼申し上げます。

板谷波山について当初は、“下館出身の陶芸家”以外、何も知り得ませんでした。作品やヒストリーに触れる度にその功績の偉大さを知り、あらためて例会活動として取り上げることの目的意識が芽生え、メンバー同士の団結力が高まりました。また、スタンプラリーにあたり、問題作成や“謹製 板谷波山トレーディングカード”など、波山ゆかりのアイテムを数々制作してきましたが、著作権、版權取得といった要の場面においては下館 時の会の会長である一木努様に多大なご尽力も頂くことができました。特に波山令孫の村田あき子様への著作権承諾についてはその人脈によりスムーズに承諾を得ることができ、同友クラブで活動できる意義そのものを、ひとりひとりが強く感じる事ができたものと思います。

最後に今回、同友クラブのスタッフと会員の皆様、総勢43名の参加、協力を得ることができました。各委員長、副委員長の皆様、そして広報委員会スタッフのご尽力とご協力にはあらためて感謝致します。本当にありがとうございました。

反省点

- ・スタンプラリーについて、相対的なルールが分かりずらかった
- ・参加スタッフへの役割、指示がいまひとつ不明瞭だった
- ・備品の準備不足があり、紐やテープ、カッターといった小道具が足りなかった
- ・スタンプ設置箇所が分かりずらかった(特にアルテリオ前に設置した問題②)
- ・抽選プレゼントのアピールが出来ていなかった
- ・“スタンプラリー”ではなく、“クイズラリー”のほうが良かったのでは？

学び

- ・下館の芸術文化の奥ゆかしさを再発見した
- ・板谷波山の作品と功績を深く知ることが出来た
- ・著作権、著作権承諾のプロセスにおいて人脈の重要性を再認識した
- ・各委員長、副委員長の考え方や姿勢をより深く学べた
- ・同友クラブメンバーの結束力を感じ取れた
- ・飯田副委員長をはじめとする広報スタッフのポテンシャルの高さを学べた

◎トレーディングカードはシニア会員にプレゼントします。 (今号月報に同封)

クイズ全問正解賞として制作された“謹製 板谷波山トレーディングカード”は
著作権取得からデザインまで同友クラブが行った完全オリジナル制作です。



会長賞としてディズニーペアチケットを手渡す高田会長。当たった女の子は大喜びで、ぴったりの当選者でした。



司会は筑西市の音楽アーティスト“macotti”こと大吉委員。波山の生い立ちと下館のゆかりについて判りやすく伝えてくれました。



まちづくり委員会の鈴木副委員長からは鳩杖最中の菓子組合詰め合わせを10名の方にプレゼントしました。



研修委員会の森副委員長からはアマゾンギフトカード5,000円分を3名の方にプレゼントしました。



広報委員会の佐藤委員長からは任天堂ゲーム機の3DSを1名の方にプレゼントしました。



親睦委員会の富田委員長からは家庭のオープンで焼ける陶芸セットを2名の方にプレゼントしました。



総務委員会の平澤委員長からは自転車と図書カードを各1名にプレゼントしてくれました。



事業委員会の福田委員長からは、“創作意欲”を刺激するプラモデルを4名にプレゼントしてくれました。

平成25年度1月例会のご案内

主管 研修委員会

筑西市長と地域の将来を語る

開催日時：平成26年1月29日(水)

会場：ホテルニューつたや

受付時間：17:30～

例会開会：18:30(時間厳守でお願いします)

終了時間：20:30(終了後懇親会)

筑西市長を囲んでの懇親会(例会終了後)

懇親会参加費:3,000円

